



住みよい町づくりへ  
議会と住民をつなぐ

第**52**号

平成24年1月18日

# 河津町議会だより



田中協同湯前（1月7日撮影）

## 主な内容

- 新年のごあいさつ..... 2 P
- 町長の行政報告..... 3 P
- 平成23年第4回定例会 他（抜粋）..... 4 P
- 一般質問..... 5～12P
- 議会視察報告 他..... 13P
- 議会の動き、私も一言..... 14P



明けましておめでとうございます  
本年もよろしくお願ひ申し上げます



2012年 元旦



## 年頭のあいさつ

河津町議会議長 土屋 桑太郎

皆様には平成二十四年の輝かしい新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年発生しました東日本大震災で被害にあわれた皆様には心よりお見舞い申し上げます、本年のご再興お祈り申し上げます。国の「社会保障・税一体改革」「地域主権改革」も政府内の意見の相違、ねじれ国会の影響等で大きな進展がみられません。国民への税負担は莫大な災害復興費用、医療費の増大、年金財源不足等、ますます重くなる状況です。

しかし、地域主権改革は「住民主体」の発想に基づき推進されるものであり「自立と創造」の仕組みに転換していくものであります。地域住民が自らの地域を自らの責任で創っていくという「責任改革」であります。町の限られた財源の中で、町の特性に応じた自主的主体的な取り組みで地域発展、住民の福祉につながる施策を推進しなければなりません。町民皆さんの知恵を生かし創意工夫による町づくりが必要であります。

議会としましては昨年「河津町第四次総合計画」を議決し、活力ある発展と福祉向上の施策が示され実現に向けて動き出しました。「河津町暴力団排除条例」を制定し、町当局と一体になり安心して暮らせる町づくりに議会一丸となって取り組んでまいります。

また、児童・生徒の議会説明会やインターネット活用等による情報発信・情報開示を行い、公明正大な議会運営を心がけ、常に町民の立場に立つて皆様の声を町政に反映させるべく最大限の努力をする決意であります。

今後とも町議会に対しご理解とご指導を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

結びに本年が町民の皆様にとって幸多き年でありませうように心から祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。

## 平成23年 第4回定例会

(抜粋)  
12月13日、14日、15日

### 町長の行政報告



#### ●平成24年度予算編成

東日本大震災等の影響を受け、町税収入の減少が予想、歳出面では義務的経費の増加を見込み、河津町第4次総合計画策定後「人と地域、自然と文化“夢あふれるまち河津”」の実現を目指す。

#### ●津波対策等

東日本大震災の教訓を踏まえ、町内21ヶ所に海拔表示の設置、年内には141ヶ所の電柱にも表示予定。

#### ●地域防災訓練

12月4日大震災発生を想定し自主防が中心となり中学生180名、高校生113名を含む2,505名が参加。

#### ●河津バガテル公園専務取締役

在り方検討会から提言を受け、常勤の専務取締役を一般公募し、63人の応募の中から、寺田繁雄氏に決定した。

#### ●温泉会館在り方検討委員会

「河津町温泉会館在り方検討委員会」では、3回にわたり委員会を開催、提言書が提出され、これをもとに今後の温泉会館の方向性を示していきたい。

#### ●町税の収納状況

平成23年10月末、一般町税収入率53.85%前年対比3.26%増。国民健康保険税、収入率43.22%前年対比4.91%増。

#### ●地域医療

新たな診療所の建設のため、下佐ヶ野地内に用地が確保でき、今後上河津診療所をひきつづき運営していただく公益社団法人地域医療振興協会に新たに整備していただく事となりました。

#### ●予防接種関係

新規事業の任意予防接種の実施状況は、ヒブワクチンが192名、小児肺炎球菌ワクチンが216名、子宮頸がんワクチンが114名が実施された。

#### ●中小企業災害対策貸付資金利子補給制度

東日本大震災に対する緊急経済対策事業貸付金利子補給決定件数は61件、借入総額は4億8千10万円、今年度利子補給額559万円程度。

#### ●観光振興事業

「河津桜まつり」を中心に「JR横浜駅、横須賀駅で誘客宣伝を行う。また農村交流事業の一環として「江東区民まつり」や「渋谷区民ひろば」にも参加した。

#### ●七滝周辺の落石等の災害

台風15号に伴う落石や倒木等の被害により各所で通行止めとなり本年度調査し、平成24年度から復旧工事に着手する見込み。

#### ●文化の家図書館の読み聞かせ室増築工事

12月6日に完成しカーペット敷きでゆったりと座った状態でできるスペースが確保されている。

#### ●水道事業

かわづいでゆ橋水道管橋梁添架工事は(有)寺林工務店が落札、722万4千円で契約した。大堰浄水場改修工事は、東海建設(株)が落札2,580万9千円で契約した。

#### ●温泉事業

一次温泉給湯事業期間は平成28年3月までの25年間で、平成28年4月から二次温泉給湯事業を開始するにあたり改築、改修事業費の工事負担金を加入者の皆様をお願いする必要があります。各位のご理解、ご協力をいただき進めていきたいと思っております。



## 平成23年 第4回定例会 (要旨)

12月13日から15日まで開かれた第4回定例会は、下記の通り、1日目は町長の行政報告に続いて4名の一般質問が行われ、2日目は、4名の一般質問が行われた。3日目は、同意案件1件、条例案件2件、指定案件1件、規約の変更案件1件、補正予算5件、発議4件を審議しすべて原案通り可決承認した。

- 12月13日(火) ○町長の行政報告 ○一般質問(4名)
- 12月14日(水) ○一般質問(4名)
- 12月15日(木) ○議案審議

- 同意第3号……教育委員会委員の任命について
- 議案第69号……河津町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第70号……河津町税条例等の一部を改正する条例について
- 議案第71号……指定金融機関の指定について
- 議案第72号……賀茂地区障害者計画等策定・推進協議会規約の一部を変更する規約について
- 議案第73号……平成23年度河津町一般会計補正予算(第7号)
- 議題第74号……平成23年度河津町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第75号……平成23年度河津町介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 議案第76号……平成23年度河津町水道事業会計補正予算(第2号)
- 議案第77号……平成23年度河津町温泉事業会計補正予算(第2号)
- 発議第1号……浜岡原発の安全対策を求める意見書の提出について
- 発議第2号……浜岡原発の徹底した安全対策を求める意見書の提出について
- 発議第3号……漁船用軽油にかかる軽油引取税の免税等に関する意見書の提出について
- 発議第4号……伊豆今井浜病院の増床を求める意見書の提出について

### 可決した23年度補正予算

- 河津町一般会計補正予算  
歳入歳出に34,056千円を追加しそれぞれ3,652,636千円とする。これは人件費等の補正のほか子育てファミリー住宅整備支援事業2,000千円、浄化槽設置整備事業20,412千円など。
- 河津町介護保険特別会計補正予算  
歳入歳出339千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ713,056千円とする。
- 河津町水道事業会計補正予算  
予算第3条収益的支出の予算額の補正。
- 河津町国民健康保険特別会計補正予算  
歳入歳出に28,549千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ1,341,367千円とする。
- 河津町温泉事業会計補正予算  
予算第3条の収益的支出の予定額115,648千円に30千円を補正し115,678千円とする。

#### 平成23年第3回臨時会(11月10日)

第3回臨時会は下記の議案を可決した。

- 承認第5号  
専決処分の承認について平成23年度一般会計補正予算(第5号)歳入歳出それぞれ40,618千円を追加し総額をそれぞれ3,618,117千円とする。
- 議案第68号  
平成23年度河津町一般会計補正予算(第6号)歳入歳出それぞれ463千円を追加し、総合をそれぞれ3,618,580千円とする。

#### 一般質問

岩手県の可燃瓦礫処理の協力に関連して

町長-可能なら協力したい。

質問...去る11月10日に県知事から瓦礫処理について、どのような依頼があったのか。

町長...3月11日に発生した東北大地震に於て大きな被害を負った。これから冬を迎え健康面でも心配。国を挙げての支援が必要と考える。知事からは、町村会と市町長会に瓦礫受入れについて要請があった。各市町の焼却場の処理能力の1%を処分してほしい旨、要請されたが、瓦礫の安全性が確認され住民の不安を払拭し議会の理解を得る等の受入環境を整えたうえで各市町の実況に合った協力をして行くとの共同声明を発表。質問...町長は、知事の要請の説明会で、主張すべき事を主張し、聞くべき点は、聞いて来られたのか?瓦礫に含まれる放射線に不安を感じている町民が多い。河津町では単独で受けられない事情がある。可燃ゴミの処理に通常どの程度の量や経費がかかっているのか。町民生活課長...東河環境センターで東伊豆町と合同でごみ処理をしているが、当町の昨年の実績は、可燃ゴミが3,704t、うち焼却灰については、他県の最終処分場へ582.81tうち灰については531.37t、費用は焼

却灰が1,785万円、不燃物の埋め立てに、248万円。可燃ゴミの処理は運営費の分担金で1億600万円程の支出をしている。

質問...震災瓦礫の受け入れに、伊豆地区の首長方と、相談を持ち国県に最終処分場を確保してもらう事が、処分してあげたい国民感情に答えることとなるが、先の見えないもどかしい気持ちの町民感情をかんがみて町長としての方向性を示したらどうか。

町長...11月10日の会議では発言はしていないが、他市町長から県で設置したらどうかの意見もあった。当町では東伊豆町と合同で東河環境センターで処分している。放射性物質が問題視されており、他県の民間業者に灰の処分を依頼している。公式文書で受け入れられない旨、通達されている。知事には、最終処分場所を確保していただくよう申し入れをした。知事も国で責任を持って最終処分場を確保していただくよう要請している。現状は前に進めない判断。安全性が確保され、当町の分を国が用意する最終処分場での確約があれば、東伊豆町と共に受け入れたい考えで太田町長とは、共通認識でいる。

#### 24年度の重点施策は

##### 町長-5つの重点テーマ

①安全と安心を確保する防



川下 英一 議員

災対策の強化

- ②子育て環境の充実と少子化対策の推進
- ③花や地域資源を活かした地域経済の活性化
- ④再生可能エネルギーの導入による町づくりの推進
- ⑤河津バガテル公園在り方検討会。温泉会館在り方検討委員会の提言をふまえた対応。

質問...町長選のスローガンだった「共生」「共働」「共創」には、「共感」と「共鳴」が欠けているのでは町長...町を熱く思い町政に当たっている。きびしい財政のなか、次の施策への準備段階と理解してほしい。熱は、冷めるどころか燃えさかっている。

#### 環太平洋経済連携協定(TPP)に備えて

質問...いつの日か来るだろうTPPに備えて準備を始める必要があると思うが。町長...協議の場にのる事は必要と考える。情報収集しながら、町民の理解を得て進める事が大事。農産物のブランド化も考えたい。



## 来年度予算の方向は

### 町長－補助金交付金事業はそのまま継続

質問...今年度歳入、歳出の見通しは。積立金取り崩しは。繰越し金の状況は。  
町長...今年度予算は確保の見込。主要事業については、国県補助金の活用にとりくんだ。今まで対応のできなかつた公民館補修は原材料支給で取り組んだ。観光関係補助事業の執行をした。積立基金から5,000万円の予算計上をしている。  
総務課長...繰越金は状況によるが、前年度より少ないと考えている。  
質問...今年度の補助事業を踏まえ、来年度の取り組み事業は。

町長...5つの重点テーマで取り組む。中山間地事業とし小水力発電の取り組み。補助事業はそのまま継続する。特に地域づくり補助事業は町民の活用をして下さい。  
質問...提案としチャイルドシート補助事業と町民健康ラジオ体操の取り組みについて。  
保健福祉課長...他の市では、社会福祉協議会で取り組んでいる。子育て支援において検討の必要がある。ラジオ体操については個々の取り組みでお願いしたい。

### 温泉施設の今後について

#### 町長－提言をもとに今井浜は地元の意見を聞く

質問...今年度の収支予想及び、今後の方向性は。  
町長...収支予想、踊り子会館が970万の赤字、サンシップ今井浜が1,000万の赤字。今後営業においては、修繕費が踊り子会館2,800万、

サンシップ今井浜が4,700万必要である。検討会の提言をもとに、踊り子会館は集客の方策をして、営業を継続する。今井浜サンシップは温泉会館の役割が終ったとの提言をもとに地元地区の意見を聞いて対応をする。  
質問...水道温泉事業に影響はどうか。  
建設課長...水道料260万温泉料900万とあり、少なからずある。今後は28年以後温泉事業の対応も含め取り組む。



サンシップ今井浜



渡邊 弘 議員

### 防災対策について

#### 町長－防災計画も踏え対応する

質問...防災備品備蓄と倉庫の場所は。  
総務課長...発電機20台、ろ水器20台、バーナー12台と食料等を3小学校と役場倉庫に備蓄。  
質問...子供の避難場所は、南小屋上、河津中屋上で本当に良いのか。  
町長...食料及び毛布の数量も少ないので、防災計画の中で取り組む。  
教育長...避難場所とし南小屋上で17m、河津中22mであります。現在は屋上避難としている。  
質問...地区の避難場所も含め、想定内だけでなく検討が必要。  
町長...今後は最初の避難場所への経路の整備見直しをする。避難タワーも検討の1つである。町内地形を見ると災害として、山崩れ、豪雨等の防災も考慮して、今後の対策をして参りたい。

## 再生可能エネルギーは

### 町長－水力、風力ともにすすめていく

質問...風力発電の進捗は。風力に反対ではないが、豊かな自然はそのまま未来に継ぎ、その中で子供たちを育てたいと願っている。自然破壊されるのは残念。  
町長...保安林の解除という段階で県から今国に申請中。それから具体的スケジュールに進む。低周波などその

### 津波避難への取り組みは

#### 町長－避難経路の整備などこれから取り組む

質問...近くに高台がない。どこに避難するか。防災無線100%網羅できるか。  
町長...各地区で設定した避難地へ避難をしていただく。学校・商工会館位しか高い建物がない。高台への避難誘導など経路の整備に取り組んでいく。無線のデジタル化は県と共にすすめる。  
税務課長...防災ラジオの販売をしている。貸出用のラジオもあるので試して欲しい。アンテナを併用すれば更に聞きとりやすい。  
質問...八潮地区分譲地の消火栓口径が一般のものより小さい様だが大丈夫か。  
総務課長...消火栓は初期消火が目的である。本管に合わせた口径で設置するので致し方ない。  
町長...別荘地として分譲さ

他の問題あればしっかりと対応を決め協議して契約に結びつけていく。  
質問...小水力発電はどうか  
町長...水力発電は県に中山間地振興のモデル事業としてどうかと申請中である。町としては前にすすめていく。

れた地域である。公平性の面からも地区の状況をみながら考えていく。

### 鳥獣被害対策は

#### 産業振興課長－貸出オリと共に各団体連携してすすめる

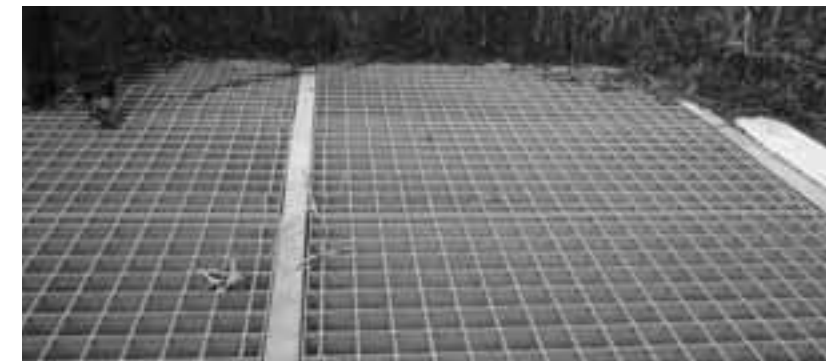
質問...捕獲用檻などの貸し出しの成果はどうか。追い払い、餌になる物を出さないよう女性・子供にも徹底させていく。  
産業振興課長...鳥獣被害防止の講習会は4回開催。延べ42名が参加。貸出箱罟は中型13基中1基、大型は11基・括り罟18基はすべて貸



小林和子 議員

出中である。10月からの貸出で成果は10頭。  
質問...J A伊豆太陽、農林事務所、近隣市町と連携・協力して進めている事は評価する更に強化されるよう求めます。

鳥獣害対策に先進的に取り組んでいる山梨県南牧村の例を紹介する。高原野菜と乳牛が人口と同じ3,000頭程いる村。各被害状況を具体的に調査し、確実に防止する策として、村中を4年かけてメッシュで囲った。その長さ全長約71km。後は残っている鹿を捕獲していけば被害はなくなる。新規就農の若者もふえていると伺った。面で囲むという先駆的で効果のある対策を考えてはどうか。



山梨県南牧村 鹿よけグレーチング



## 福祉バス運行の考え方は

### 町長－総合的にバスシステムの構築を

質問...平成21年4月デマンド交通運行開始の段階まで到ったが実現していない。高齢者の運転免許証の自主返納の動きもあるが、返納者は免許証を手放す不安がある。進捗状況は。

町長...NTT東日本方式で調査、試算したが、10年間のランニングコストがかかり、今の財政状況では厳しい。

質問...NTT東日本方式の他にも東大方式、AVプランニング方式等、システム

### 自然エネルギー発電への取り組み状況は

### 町長－県モデル地域として名乗りをあげた

質問...私は大震災の半年前の9月議会で小水力発電、

の更新の安価なタイプ、運行効率を高めたタイプ、ランニングコストを抑えたタイプがある。河津町に適したタイプがあると思うが、いかが考えるか。

町長...福祉的な観点から必要と思うので、他の方式も検討し、河津町にとってどのようなシステムが必要になるか、自主運行バス、町営バス、試験運行バス含めて総合的にバスシステムの構築を考えたい。

メガソーラー（大規模太陽光）発電等を提案した。今改めて代替エネルギーとして注目されている。取り組み状況は。見高入谷の改良区の南向き斜面の適地を提案するが、どうか。

町長...震災を契機に町としても積極的に自然エネルギー



宮崎啓次 議員

の導入に取り組む考えである。町として、エネルギーの地産地消と中山間地域の振興を図るための事業として、県に対してモデル地域として名乗りを上げた。小水力発電を利用した鳥獣害対策、水車等による農村風景の再生の観光資源として活用など考えている。メガソーラーは見高地区改良区からの要望があり、上佐ヶ野地区への提案もある、今後調査していく。

### 津波に対する避難対策は

### 町長－各地区と相談し整備

質問...沿岸部の山への避難路、登り易い階段等計画は。長期的観点で駅周辺に複合施設等に避難タワーは考えられないか。

町長...山間部等への避難路の確保にむけ、各地区と相談して避難路の整備を考える。駅周辺に高い建物が無いので、将来的に避難タワーの設置か複合的・高層的な建物も考えられるかもしれない。



見高改良区 南向き斜面

## 町道未登記箇所の整備を早急に

### 町長－実情を踏まえて前向きに進める

質問...現状は町道にも拘らず、まだ土地の所有権移転が済んでいない、町道の未登記箇所が多いと聞くがその実態と、処理の状況は。又、その事によって問題やトラブルはないか。

町長...相続等の問題もあり、なかなか進んでいない。地権者の皆様には迷惑をかけて申し訳ない。実情を踏まえて前向きに取り組んでいく。

建設課長...町道の未登記箇所は500か所程度あると思われる。毎年450万円程度の予算で5～7か所を整理している。登記の遅れによって問題やトラブルの発生も過去には何件か発生したことがある。

### 鉢の山町有地の今後の利用は

### 町長－津波対策で仮設住宅地としても

質問...町は鉢の山周辺に、平成16年から20年度にかけて、森林空間整備事業等で約6,000万円をかけて整備してきたが、シカの食害によって見る影もない、今後どのような利用を考えているのか。

町長...今現在、特に具体的なアイデアは持っていない。

しかし、あの土地を手放すつもりはないし、大規模な開発も考えていない。トイレがある平らな所は、災害対策用資材の仮置き場、又、伊豆縦貫道の残土の受け入れ地としても地元の合意を得ながら進め、もし津波災害が発生した場合には仮設住宅地としても考えたい。

### 耐震化の期限まであと4年！国民宿舎をどうする

### 町長－24年に委員会を、25年度中に方向性を

質問...国民宿舎は建築物の耐震改修に関する法律により、今のままでは27年度末で使えなくなる。この事について上河津財産区と話し合いを持った事はあるか。国民宿舎の今後についてどのように考えているか。

町長...国民宿舎は上河津財産区の所有だが、町としてもそのままという訳にはいかない。24年度中に委員会を立ち上げ、25年度までには方向性を決めたい。国民宿舎をどうするだけでなく、湯ヶ野地区の活性化のために、医療、介護、又、少子化にともなう小学校統合や温泉の源泉問題等も含めて



山田 勇 議員

考えたい。

### 三筋山風力発電、協定書の内容は

### 町長－低周波も含めて東電側と協議

質問...三筋山風力発電についての今後の見通し、スケジュールはどうか。

町長...現在、保安林解除の予定告示内容の縦覧に入っている。この期間を経て解除されれば着工に向けて大きく動くと思うが、スケジュールについては決まっていない。

質問...事業についての、契約書、協定書の内容は。又、5億なり、10億なり、保証金を預かる考えはないか。

町長...町の「土地利用事業適正化に関する指導要項」に基づいての協定は結んでいる。この内容では十分ではないので、低周波や災害等の問題を含めて東伊豆町と協働して東電側と協議していく。保証金については考えていない。



## 地域医療の今後の動向 公立病院の建設の動きは

### 町長－52.3%の進捗状況上半期 1億9千万円の損失額が発生

質問...建設費の増加、また河津町の負担増はあるのか。町長...管理者より正式な話がない。赤字補てんは協定で、23年4月1日から新病院の開院の前日までとなっている。上半期1億9千万円の赤字と聞いている。

質問...医療体制、医師の確保状況は。

町長...現状は内科、外科、整形外科、麻酔科、婦人科、脳神経外科、小児科の7科。オープン時には12科と聞いている。医師は常勤5名、非常勤14名51床で対応、100床体制を準備していたが実現していない。

質問...新病院完成までの間

共立湊病院が診療されているが経営状況等把握しているか。

町長...管理者、組合議会より報告が無いのでわからない。今後は組合議会より話を聞き町民に周知したい。

町内の医療施設の充実

### 町長－病診連携の ネットワーク化

質問...建設中の今井浜病院が救急を行うと聞いているが現在の共立湊病院、下田病院、西伊豆病院で行っている体制は今後どうなるか。

町長...共立病院、西伊豆病院、今井浜病院と今後重責



吉田重好 議員

を担ってもらいたい。

質問...病院、診療所が町内にできると町の医療計画や福祉計画が大きく変化すると思うが、計画等はあるか。町長...今現在計画は無い。質問...病院の完成により防災計画に大きな変化が考えられるが、見直しの考えはあるのか。

町長...地域防災計画を見直し、今井浜病院と上河津診療所と連携し受け入れ体制作りを構築したい。現在、具体的には示せませんが今後協議が重要と考えられる。

また今井浜病院の増床については、計画が示されれば協力をしたい。町と病院・診療所とが一体となり地域医療福祉環境の構築に向けた信頼関係を築いていきたいと考える。

意見...河津町においては共立湊病院、上河津診療所、今井浜病院等の建設で今まで以上に町民の命を守る環境が充実し今後も河津町長として、協力を願いたい。



(仮称) 伊豆今井浜病院完成図

## 24年度予算の重点は 町長－重点テーマを設定

質問...平成24年度の予算編成が示されたが、わかりにくい。町民に解り易く説明されたい。

町長...予算編成方針を基にローリング(実施計画)も実施した。1月に町長査定を行う。南禅寺整備事業やバガテル公園周辺整備など継続事業を取り組んでいく。総括的には委員会を設置する。

質問...重点テーマとして

1. 安全と安心を確保する防災対策の強化
2. 子育て環境の充実と少子化対策の推進
3. 花や地域資源を活かした地域経済の活性化
4. 再生可能エネルギーの導入によるまちづくりの推進
5. 河津バガテル公園の在り方検討会、温泉会館在り方検討委員会の提言を踏まえた対応

の5項目ある。町民に解り易く「見える化」をして具体的に示せないか。

町長...公共の施設の耐震化がなされていなかったり、老朽化した所もある。財政の裏付けを取って検討する。

質問...監査委員や議会からの意見書が出されている。学校施設の改善計画や放課後児童クラブの利用等の反映は。

町長...監査委員から11件、議会から6件ある。よく精査をして、予算化するよう指示をした。

### 職員の人材育成の強化を

#### 町長－本町は少ない人数で残業までして頑張っている

質問...県下12町の中で7番目と少ない。(人口千人当たり9.7人)。少数精鋭である。職員の資質向上の為に、知識研修に体験・視察

研修の取り入れ、職員のやる気を引き出すべきだ。

町長...現在87名の職員がいる。若い職員が多く逆ピラミットである。国からの権



土屋貴 議員

限委譲も多く、職員の頑張りによって行われている。

### 農業振興策の 取り組みは

#### 町長－JA伊豆太陽や 農業振興会との 協力強化

質問...町長はTPP参加(事前協議)の賛成表明は、町内の農業振興に本腰を入れるとみるが、その真意は。町長...少子高齢化の中、認定農家の減少や後継者がいないなど厳しい状況にある。

柑橘・わさび・カーネーションなどの特産品もあり、JA伊豆太陽や農業振興会と協力して一つ一つの生産物のブランド化を図りたい。

質問...農業全般を考えるのではなく、核となる産物の拡大に向けて、後継者のいる農家や新規就農者の育成に取り組む事が近道である。長期的視野に立った政策の展開を。

町長...地産地消を念頭に置き、農業経営体に対してどのような支援対策ができるか精査する。



## バガテル22年決算は… 粉飾の疑いが

### 町長－粉飾していない

質問...バガテル公園の決算書では平成22年度は土地の減免1,428万円・建物の減免2,228万円一般会計より補助金を調整し3,000万円として、当期純利777万円とした。これは粉飾の疑いがある。町長...申告はしている。問題があれば税務署・国税局の指摘があると思う。質問...契約書では指定管理期間は21年4月から24年3月までとなっている。専務取締役の任期は4ヶ月となるが募集では平成25年6月

までとしている。なぜ期間延長したのか...副町長...バガテル公園在り方検討委員会の結論で専務に経営再建をゆだね契約は24年3月だが一年延長して25年6月までとした。質問...【年俸700万円】の基準は適当か、また『在り方検討委員会』70万円、『10周年記念支出』400万円、『専務取締役報酬』250万円の支出は23年度一般会計より支出する予定となっているが適当ではない。

### 河津七滝の落石通行止めは

### 町長－1日も早く復旧させたい

質問...9月25日の台風15号・10月21日の落石による通行

止めの復旧状況は...町長...現在落石現場の測量



初景滝手前



### 坪井弘司 議員

をしている最中であるが復旧は24年度中に1日も早く復旧させたい。

### 伊豆今井浜病院の 開設について

### 町長－増床計画が 示されれば 協力する

質問...伊豆今井浜病院は平成24年4月開院を目指して工事が進んでいる。定員60床の二次救急のできる病院であり、町ぐるみで応援体制をとるべきと考える。

町長...今井浜病院の増床計画が示されれば協力する。

## 「エコ・エネルギーのまち」議員視察・研修

11月29・30日に愛知県田原市「炭生館」。田原臨海風力発電所。西尾市「フジ・プランツ(株)」へと議員全員と職員4名で視察研修に行ってきました。

田原市は渥美半島に位置する人口65,000人の市、環境に配慮したエコエネルギーの町づくりを展開している。その中で可燃ゴミの処理に先進的な取り組みをしている「炭生館」という施設を見学した。

外観からは焼却場というイメージはまるで感じられず、排気の煙突も見えず、美術館かと思うような建物であった。搬入された可燃ゴミは炭火炉に入れられ、金属・アルミなどは選別されて製鋼所に於て有効利用される。他の焼却ゴミは行程を経て炭火物としてコークスや保温材の代替品として再利用されるとの事。又高さを抑えた煙突からの排気はダイオキシンを分解除去し、排ガスとして処理放出しているとの事であった。出る水は中で循環させている。施設の内外も自由に出入りできる様に設計され、運営は官民協働のPFI手



炭生館

法によるものであると伺った。資源を循環させる手法・技術に感心した。

### 渥美半島根元の田原臨海 風力発電所を見学

三河湾の風をうける海岸部の敷地に13基の風力発電が林立し、公園として整備され町をあげての自然エネルギーへの取り組みを実感した。市内全域、官民大小合計では45基になり、総発電量は47,300kwで一般家庭3万世帯分にあたりと伺う。

太陽光発電にも積極的に取り組み公的施設への導入状況も62施設に設置、更に臨海地にメガソーラー太陽光発電の計画もすすんでいると伺った。環境への配慮、自然エネルギーへの取り組み、官民協働の手法など、大いに感銘をうけた。

### 翌日はフジ・プランツ(株) の視察

こちらは民間のカーネー



フジ・プランツ(株)

### 白馬村との交流

12月1日白馬村議員10人が当町を訪れた。

観光客の減少等活発な意見交換がされた。

来年には姉妹都市としての交流30周年を迎える。更に親交を深めていくことを確認しあった。

シオン種苗会社である。町内見本園の苗もこちらから分けていただいている。外国の会社との共同事業で、新品種の開発から生産・販売まで行う種苗の専門会社です。何万種もの中から500品種余に絞って生産をするという。ピート利用の栽培方式で、消毒・温度管理・液肥・ハウスの雨対策等、自動の最新設備を備えて管理されていた。各ハウスの入り口には消毒用プレートがあり靴底を消毒してからハウスの広さ、最新の管理体制、花に対する熱い心に感激した一時であった。



土屋 桑太郎 議長

議長の諸般の報告

9月

- 16日 県議長会（静岡市）
- 17日 河津中学校運動会
- 20日 河津町交通安全対策
- 22日 県振興協会評議員選  
定委員会（静岡市）
- 25日 櫻井泰次氏旭日小綬  
章祝賀会
- 27日 温泉会館在り方検討  
委員会

10月

- 1日 わかば保育園運動会
- 2日 河津町民体育大会
- 12日 県町村議会議長会定  
期総会（静岡市）
- 14日 S K Y サミット（富  
士吉田市）
- 19日 温泉会館在り方検討  
委員会  
賀茂郡議長会（東伊  
豆町）
- 28日 町より議員説明会  
賀茂郡議員研修会  
（西伊豆町）

- 30日 河津町ふれあいまつり
- 31～2日 県町村議会議長会  
の県外視察（熊本県）

11月

- 3日 町表彰式・交通指導  
員35周年記念式典
- 4日 戦没者招魂祭

- 10日 議会第3回臨時会
- 12日 河津会総会（東京）
- 15日 郡議長会研修（東京）
- 16日 全国議長大会（東京）
- 17日 県地方議会政策研究  
会（静岡市）
- 18日 河津町社会福祉大会
- 20日 峰温泉大噴湯公園まつり
- 22日 10月分例月出納検査  
結果報告
- 25日 伊豆柑橘振興協議会  
総会（東伊豆町）
- 27日 踊子文学記念式典

- 29～30日 町議会委員視察  
研修  
エコエネルギー（田  
原市）カーネーショ  
ン種苗専門会社（西  
尾市）

12月

- 1日 白馬村議会が当町を  
表敬訪問
- 2～3日 静岡県市町村駅  
伝競争大会（静岡市）
- 8日 議会運営委員会



～私も一言～

商工会女性部は、地域活性化の為に地域貢献活動をはじめ、環境福祉活動に取り組んでおり、その中で年に一度移動研修をしています。

今年は地域特産品として、河津産の芋を使った焼酎「力石」の製造元富士錦酒造を視察し、社長夫妻の温かな人柄に触れ、300年続く蔵元の歴史を知り醸造過程を見学し感動しました。富士市商工会女性部交流会では、地域活性化を目的に地元産米粉を使った「富士山ひらら」を開発し、特産品として地域全体で協力し盛り上げている姿に感銘しました。

私達も女性ならではの視点にたち、今後自分達にできる事を話し合い、地域の皆様のご協力を頂きながら、地元素材・地域資源を活かした特産品を考え、活性化につなげていきたいと思いました。

ふれあいまつりエコキャップ回収運動では『ためておいたよ』と声をかけて下さり、たくさんのキャップ・プルタブ・ベルマークをご協力頂きまして有難うございました。運動の輪が広がっています。

これからも地域に根づいた女性部として、活動してまいります。

商工会女性部長 島崎 公子

編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年は、東日本大震災、福島原発事故、台風等、自然の驚異、まさに国難に直面した一年であった。

今年は平穏な一年であってほしい、私達広報委員も、新しい年を迎え気分新たに、町民の皆様に議会便りを通し、議会の動きを分かりやすく理解していただけるよう努力頑張っていきたい。（稲葉）